

春季労使交渉(最終集計)・夏季賞与交渉(中間集計)

【春季労使交渉】

本会が調査した春季労使交渉結果では、報告のあった61社の妥結額平均は3,681円、アップ率は1.36%であった。前年の実績(56社、4,091円、1.50%)と比べ、金額で410円、率で0.14ポイント下回った。前年を下回るのは3年ぶり。

業種別でみると、製造業32社の妥結額平均は4,185円、アップ率は1.55%で昨年の実績(32社、4,482円、1.58%)と比べ、金額で297円、率で0.03ポイントのマイナスとなった。非製造業29

社では3,104円、1.15%となり、昨年実績(24社、3,611円、1.40%)と比べ、金額で507円、率で0.25ポイント下回った。

《参考》

経団連が発表した中小(従業員500人未満)の賃上げ妥結結果(5/31、中間集計)では、263社の妥結額平均は3,869円、率は1.54%となっており、前年の最終集計に比べて、金額で393円、率で0.10ポイント下回っている。

平成24年6月29日現在

業種	春季労使交渉(最終結果)						夏季賞与(中間集計)		
	社数	平均年齢	勤続年数	基準内賃金	妥結額(円)	アップ率(%)	社数	支給率(ヶ月)	支給額
製造業計	32	38.4	13.5	262,746	4,185	1.55	14	1.92	593,781
(前年度)	32	39.2	16.4	274,773	4,482	1.58	14	2.51	677,605
化学	13	37.8	12.7	280,777	4,619	1.65	6	1.98	729,892
機械金属	5	40.4	17.2	272,622	4,483	1.73	1	1.70	411,318
食品	1	—	—	—	—	—	0	—	—
鉄鋼・非鉄金属	4	35.6	7.4	262,054	3,550	0.90	2	2.14	600,000
電機機器	3	38.6	11.0	246,225	4,377	1.82	2	1.70	383,286
その他	6	38.8	14.2	234,165	3,390	1.39	3	1.91	563,936
非製造業計	29	40.5	13.4	249,444	3,104	1.15	18	1.65	476,856
(前年度)	24	38.8	12.2	255,756	3,611	1.40	12	1.97	456,013
運輸・通信	9	41.6	14.1	234,617	2,347	0.93	8	1.44	409,775
金融	1	—	—	—	—	—	2	2.11	—
卸・小売	10	43.4	15.5	258,139	2,953	1.13	2	1.52	410,491
土木・建設	3	—	—	278,701	4,826	1.82	1	—	—
その他	6	37.7	11.4	242,567	3,651	1.20	5	2.23	597,316
全平均	61	39.3	13.5	256,095	3,681	1.36	32	1.78	533,153
(前年度)	56	39.1	14.7	266,284	4,091	1.50	26	2.27	585,275

※集計社数が1社の場合など数字を伏せた業種があるが、平均には含まれる。

※夏季賞与の前年度は、本協会調べの昨年度中間集計時点の数値。

【夏季賞与】

現在調査中の夏季賞与支給状況は6月29日現在32社から報告があり、支給額の平均は533,153円となっている。昨年の同時期(26社)と比べ52,122円、8.90%のマイナスとなっている。

業種別でみると、製造業14社の平均は593,781円で昨年比83,824円、12.37%の大幅なマイナスとなっている。特に、電機機器で2桁のマイナスになったのをはじめ、報告のあった5業種中、化学を除く4業種で昨年を下回った。

一方、非製造業(18社)では476,856円で昨年来を20,843円、4.57%上回っている。運輸・通信がプラス、金融とその他がマイナスと業種間でばらつきがみられる。

非製造業が最終集計で前年を上回れば5年ぶりになる。

県内の小規模事業所では、7月に入ってから取り組むところもある為、最終集計は8月下旬を予定している。